



荒川遊砂地砂防えん堤

今年度、荒川砂防出張所で施工している工事のうち、今号では荒川遊砂地砂防えん堤を紹介します。

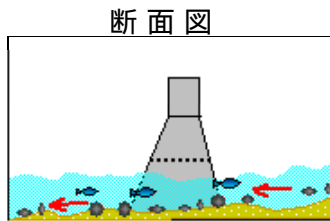
福島市の西方、約10kmのところ荒川遊砂地があります。遊砂地とは、大量の土砂が流れてきたときに下流へ流れないように、一時的に土砂を貯めておくところです。その遊砂地内の下流部に砂防堰堤があります。周辺には吾妻山や土湯温泉を初めとする温泉地があり、観光地として多くの人々が訪れます。また砂防えん堤右岸側を国道115号が縦断し、豊かな自然環境と観光資源の中に施工される砂防えん堤であることから、景観と自然環境に調和した砂防施設であることが求められています。

荒川遊砂地の砂防えん堤は、全国でも近年施工事例が増えている大暗渠砂防えん堤です。半円型の暗渠を9箇所設けています。

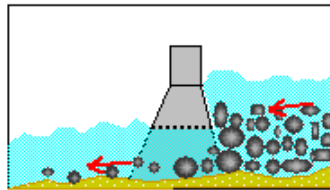


大暗渠砂防堰堤の効果

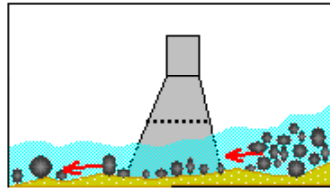
中・小洪水時・・・上流から流れてきた土砂を下流へ流します。より自然に近い形で魚や低生物などが行き来できます。



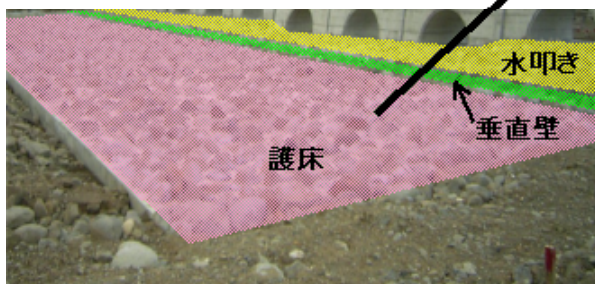
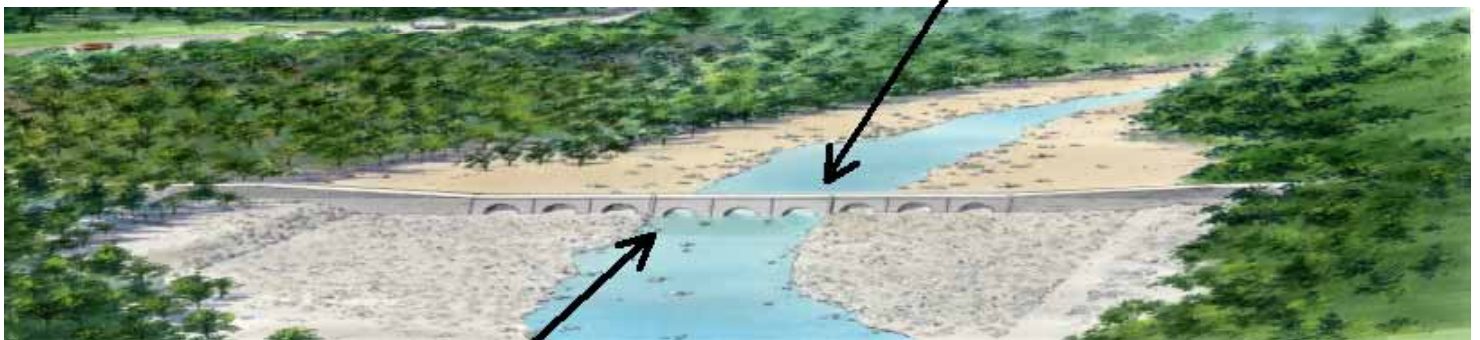
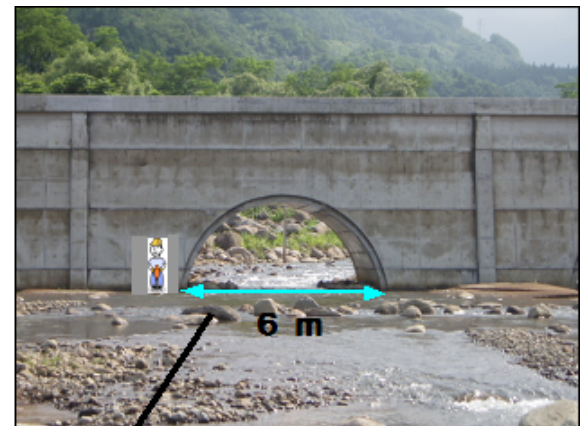
大洪水時・・・上流から流れてきた大量の土砂を一時的に貯めます。



減水時・・・えん堤の上流側に貯まった土砂を再び下流へ流します。



あんきょ
大暗渠



主えん堤の下流側は、景観に配慮し、現場で採取した石が敷き詰められています。平らで同じように見えますが、左図のように場所によって名称が異なり、役割も少し違ってきます。

水叩き 大洪水時の水や土砂からの衝撃で、えん堤の下流側の川底が削られるのを防ぎます。

垂直壁 水叩きの下流側に設置し、主えん堤の水叩きを保護します。

護床 えん堤の安定のために設けます。

荒川遊砂地砂防えん堤は今年度完成予定です。完成後は土砂災害を防止することに加え、市民参加による河川イベントのコースとして活用予定されています。また近隣する国道115号線から砂防えん堤を望むことができ、親水施設としての利用も期待されています。





荒川砂防えん堤探検記



荒川砂防探検隊？
隊員一同



荒川砂防出張所では、現在40以上の砂防施設を直轄管理しています。
『フロムあらかわ』では、普段ほとんど見ることのない砂防えん堤についてみなさまにもっと知っていただく事を目的として、砂防ダム探検記を掲載することにしました。

今回は荒川砂防出張所が直轄管理するえん堤のうち、荒川の最も上流にある”荒川第13砂防えん堤”を紹介します。



探検記 その1 荒川第13砂防えん堤



荒川第13えん堤は荒川上流部分(標高700m付近)にあり一般の方が目にする事はまずありません。土湯温泉町から一般車両の進入禁止となっている林道に入り、悪路を揺られながら進んでいきます。(林道入口には遮断機があり一般の方は入れません。)



林道を走ること約15分でようやく入口に到着です。現在工事用道路にミズナラ、ヤマハンノキ等が植林されており、車は進入出来ません。ここからは徒歩で第13えん堤を目指します。

しばらく歩いていくと急な長~い階段が見えてきました。第13えん堤に行くには急な斜面に設置された現場作業用の階段をひたすら降りていきます。人が入らないところなので草木が生い茂り、なかなか進めません。



熊が爪で
ひっかいた
ような跡を
発見!!
(;-;-)



到着 😊🎵



荒川第13砂防えん堤はスリット型砂防えん堤です。スリット型砂防えん堤は、大規模な土石流が起きた時には土砂や岩をくい止め、ちょっとした降雨の時には土石流の危険のない土砂を下流に流し、河川の河床低下を防ぎます。また、流れをせき止めないので、溪流に住む生物などの棲息環境への影響を少なくできます。

着工 昭和60年 竣工 平成14年

平成14年に完成したのに年季が入っているように見えるのは、表面が鋼製でさびやすい為です。また、川の水も酸性の為、余計にさびやすいようです。鋼製の枠の中は、コンクリートで固めてあります。

・:・:・あとかぎ:・:・

砂防えん堤のほとんどは人目に付かない山奥などに設置され、きたる土砂の流出を防ぐことを目的としています。そのためえん堤の存在自体を知らない人も少なくありません。流域の生活や財産を守るために設置されたえん堤を、少しでも紹介する事で砂防事業の大切さを知って頂ければと思います。





土砂災害に気をつけましょう!

局地的に短時間で強い雨(時間雨量が数十ミリ)が降ることが多くなりました。地形によって土石流・地すべり・崖崩れなどの土砂災害が起きる原因となります。また9月、10月は例年多くの台風が日本に近づく時期でもあり土砂災害に対する十分な警戒が必要です。



避難の判断基準は雨量です

短時間で強い雨が降った場合の降りかたとおおよその雨量です。(数値はあくまで目安ですので必ずしも被害が起こるとは限りません。)

(時間雨量5~9mm)



屋根をたたく雨の音が聞こえてきます。

(時間雨量10~19mm)



雨の音で話が聞き取れにくくなります。

(時間雨量20~29mm)



土砂降りの強い雨で傘をさしても濡れてしまいます。下水道があふれたり、川が氾濫する場合があります。

(時間雨量30~49mm)



バケツをひっくり返したような激しい雨です。山崩れやがけ崩れが起こりやすくなります。

(時間雨量50~79mm)



滝のように降り続く非常に激しい雨です、傘がさせません。マンホールから水が吹き出したり、地下室や地下街に雨水が流れ込む場合があります危険です。

(時間雨量80mm以上)



猛烈な雨です。視界が見えません。大規模な災害のおそれが強く、厳重な警戒が必要です。緊急避難することをおすすめします!

長時間に渡って雨が降り続いた場合にも地盤がゆるみ災害が起こりやすくなります。また雨が上がった後に、土砂災害が発生することがあります。十分に注意や警戒をしてください。



土砂災害の主な前兆現象は次のとおりです。

このような前兆がありましたら土砂災害発生の可能性が高いので注意して下さい(下記は主な事例です。目安であり必ずしも被害が起こるとは限りません。)

がけ崩れ

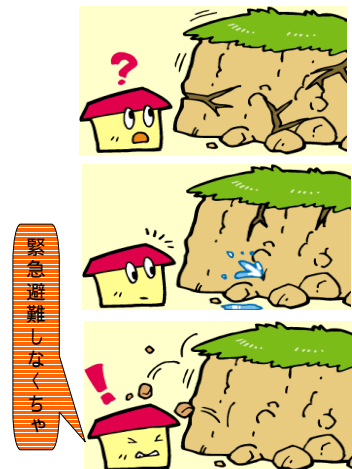
- ・がけに割れ目が見える
- ・がけから水が湧き出ている
- ・がけから小石がぱらぱらと落ちてくる
- ・がけから木の根が切れる等の音がする

地すべり

- ・沢や井戸の水が濁る
- ・地面にひび割れができる
- ・斜面から水が吹き出す
- ・家や擁壁に亀裂が入る
- ・家や擁壁、樹木や電柱が傾く

土石流

- ・山鳴りがする
- ・急に川の流れが濁り流木が混ざっている
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・腐った土の臭いがする



緊急避難しなぐちや



あれ?水が濁っている。



福島河川国道事務所のHPでは防災情報や阿武隈川水系の川の水位や雨量などの情報を随時見ることが出来ます。ぜひ活用してください。



〒960-2156 福島県福島市荒井字地藏原甲2-14

国土交通省 福島河川国道事務所 荒川砂防出張所
024-(593)-0831 (直通)

福島河川国道事務所HP <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>



ご意見、ご感想、砂防に関する問い合わせ等ございましたら、ぜひお寄せ下さい!!

(平成17年9月作成)